

令和2年度 学校評価アンケート(中間評価)結果について

1. 生徒アンケート集計と分析

生徒

質問項目	重要度	実現度
学校のきまりや約束事を守っている。	6.5	6
係やそうじ、委員会の仕事がしっかりできている。	6.5	6
友だちに嫌な思いをさせないようにしている。	6.7	5.9
学校に行くことが楽しい。	6.3	5.6
家族と過ごす時間を大切にしている。	6.3	5.6
先生や友だちから大切にされていると感じる。	6.4	5.6
自分から進んであいさつをしている。	6.4	5.5
礼儀や言葉遣いに気をつけている。	6.5	5.5
授業に必要な準備をし、前向きに授業に参加している。	6.6	5.5
学校からの配布物は保護者に渡している。	6.4	5.2
家の手伝いをするなど、家族の一員としての役割を果たしている。	6.1	5
授業の内容はよくわかる。	6.6	5.1
困ったことは、先生や家族に相談している。	6	4.7
早寝・早起き・朝ごはんなど規則正しい生活ができている。	6.4	4.9
ケータイ・スマホ・ゲーム等の使い方や時間について、ルールを決めて使用している。	5.7	4.2
平日課題の取り組みや、家庭学習(塾や家庭教師の時間を含む)に、平均して1日1時間以上取り組んでいる。	6	4.3
1日平均30分以上(朝読書を含む)読書をしている。	4.9	3.1
いじめなどで困った時に相談できる「いじめ対策委員会」が学校にあることを知っている。	6	3.9

○数値の計算方法について

重要度「とても重要である」…7「やや重要である」…5「あまり重要でない」…3「重要でない」…1

実現度「とても出来ている」…7「やや出来ている」…5「あまり出来ていない」…3「出来ていない」…1

※達成度が高い(重要度が高く、重要度と実現度の差が小さい)項目の順に上から並べてあります。

昨年度との比較では18項目中10項目で昨年の同時期より実現度が下がっており、特に「スマホ・ゲームの使い方」と「困ったことを相談できている」の二つの項目の下がり方が大きく、コロナでの休校期間の影響が懸念されます。その反面、家庭学習の項目は上がっていることもその影響からと考えられます。上位の5項目は、順位も実現度もほとんど変わらず上位にあります。「係やそうじ、委員会の仕事がしっかりできている」「学校の決まりや約束事を守っている」「友達に嫌な思いをさせないようにしている」の3項目は「重要度」「実現度」とともに高い数値になっており、神川中学校の生徒がこの3項目を本当に大切にしていることがわかります。決まりや約束を守り、自分の役割をしっかりとこなし、楽しい学校になるようにしようとしていることが「学校に行くことが楽しい」という結果につながっていると考えられます。

達成度が低い下から3つの質問の項目は、昨年と全く変わっていないが、今年度「いじめ対策委員会」の認知度を問う新しい項目が入り、一番低い項目となっています。

2. 保護者アンケート集計と分析

保護者

質問項目	重要度	実現度
家族で過ごす時間を大切にしている。	6.4	6.1
子どもは学校に楽しく通っている。	6.9	5.7
子どもに、友だちを大切にするよう働きかけをしている。	6.8	5.5
子どもに、決まりや約束事を守るよう働きかけをしている。	6.8	5.3
子どもが先生や友だちから大切にされていると感じている。	6.7	5.2
子どもに、礼儀や言葉遣いに気をつけるよう働きかけをしている。	6.6	5
学校からの配布物やホームページ等で、学校の様子が伝わっている。	6	4.7
子どものことについて、保護者が学校に相談しやすい雰囲気がある。	6.4	4.8
子どもが早寝・早起き・朝ごはんなど規則正しい生活ができるよう働きかけをしている。	6.6	4.5
子どもに、自ら進んでいざつするよう働きかけをしている。	6.6	4.7
子どもに家族の一員としての役割(家の手伝いなど)を作るようしている。	6.2	4.4
子どもに、授業に集中して取り組むよう働きかけをしている。	6.6	4.6
子どもが学習内容をどの程度理解しているかをテスト結果や家庭学習などを通して把握しようとしている。	6.5	4.5
学校行事や授業参観、PTA活動等に積極的に参加するようしている。	5.4	3.7
子どもに、家庭学習(塾や家庭教師の時間を含む)の習慣が定着するよう働きかけをしている。	6.3	4.2
子どものケータイ・スマホ・ゲーム等の使い方や時間について、ルールを設定している。	6.3	4
いじめなどで困った時に相談できる「いじめ対策委員会」が学校にあることを知っている。	6.1	3.6
子どもに、読書の習慣が定着するよう働きかけをしている。	5.7	3.2

○数値の計算方法について

重要度「とても重要である」…7「やや重要である」…5「あまり重要でない」…3「重要でない」…1

実現度「とても出来ている」…7「やや出来ている」…5「あまり出来ていない」…3「出来ていない」…1

※達成度が高い(重要度が高く、重要度と実現度の差が小さい)項目の順に上から並べてあります。

昨年と同様「子どもは学校に楽しく通っている」の項目を保護者の方々は重要だと考えておられていて、その実現度が2位となっていることが、学校としても大変うれしく感じるところです。「家族で過ごす時間を大切にしている」の実現度が前年は4位だったが1位になっているのはコロナでの休校期間の影響が考えられます。「子どもに、友達を大切にするように働きかけをしている」「子どもに、決まりや約束事を守るよう働きかけをしている」の2つの項目も昨年同様、重要度、実現度ともに高くなっていますが、昨年よりは実現度が下がっているのもコロナでの休校期間の影響であると考えられます。保護者の方々の思いや働きかけが子どもたちの考え方や行動に直接結びついているといえますので、今後も子どもたちへの働きかけをお願いしたいです。

生徒アンケートでも実現度の低かった「ケータイ・スマホ・ゲーム等の使い方や時間について、ルールを設定している」「読書の習慣が定着するよう働きかけをしている」の2項目は、コロナでの休校期間の影響は見られず数値的にはほぼ昨年との変化はありません。

学校では学活や道徳などを活用して、「時間の使い方」について考えさせていきます。ご家庭でも今一度、毎日の時間の有意義な使い方を一緒に考えていただければと思います。